

市立柏原病院事務局 部長マニフェスト

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

私の思い

市立柏原病院事務局長 石井 秀幸

市民意識調査において、「医療体制」が重要度の 1 番に掲げられているように市立柏原病院は、市民の健康を確保し、良質な医療を継続して提供し、市民から親しまれ必要とされる「地域の基幹病院」とならなければならない。

このためには、医療体制のさらなる充実のもとより、早期の健全経営が最重要課題であることから、病院職員全員が一丸となって経営の安定化に努めなければならない。



(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

重点課題

- ① 高度医療の充実
- ② 救急医療体制のさらなる充実
- ③ 早期の健全経営

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

部の施策概要

さらなる医師の確保に努めるとともに、悪性新生物（がん）や心疾患等の必要度の高い医療体制の充実を図り、高度医療や救急医療を担うことにより、地域医療の安定的な供給に貢献し、「心あるより良い医療の提供」という基本理念のもと、全職員が一丸となって経営の安定化を図り、地域住民に対し、より安全で安心できる医療を継続して提供する病院づくりを行う。

高度医療の充実

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

- ・大阪府がん診療拠点病院の指定を受ける
- ・循環器疾患に対する検査・治療の充実
- ・専門外来の充実

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

- ・関連大学（大阪市立大学）及び近隣医師会（柏原・藤井寺・八尾）との連携を強化し、がん患者の受入れと治療に力を注ぐ。
- ・循環器内科医師、看護師、臨床工学技士による循環器チームの更なる充実に努め、心疾患の早期発見、心臓カテーテル検査、治療の増を図る。
- ・患者が希望する医療を選択しやすいよう、専門外来の充実を図る。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

- | | | | |
|-----------|--------|----------------|--------|
| ・腹腔鏡下手術件数 | 230 件 | ・化学療法件数 | 1400 件 |
| ・内視鏡検査件数 | 3600 件 | ・心臓カテーテル件数 | 200 件 |
| ・PCI 件数 | 200 件 | ・睡眠時無呼吸検査件数 | 40 件 |
| ・ピロリ外来 | 200 件 | ・乳腺外来患者数（検診含む） | 850 件 |

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

市民が安心して、高度な医療を受けることができる。

救急医療体制のさらなる充実

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

- ・ 救急告示曜日の拡充
- ・ 救急診療科の拡充

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

- ・ 現在、内科・循環器内科・外科・消化器外科・整形外科の5診療科において毎週木曜日、救急告示病院として、救急体制を確立しているが、救急診療科及び救急告示曜日の拡充を図る。
- ・ 緊急を要する重症患者を受け入れることのできる集中治療室（HCU）の整備を図っていく。
- ・ 救急体制拡充、HCUの整備に伴う医療スタッフの適正配置を図る。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

- ・ 救急受入件数 1000 件
- ・ 救急断診率 20%

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

- ・ 生命の危機が迫っている、耐え難き苦痛があるなど、急に発病した場合でも安心して受診することができる。

早期の健全経営

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

平成 27 年度末までに、「経常収支の均衡」、「不良債務の解消」を目指す。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

- ・市立柏原病院新改革プラン（市立柏原病院八策）の着実な実行
- ・職員自ら考え、自ら病院運営に参画できるボトムアップ運営に加え、的確なトップダウンを行うことにより、早期の健全経営を図る。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

- ・病床稼働率 80%確保
- ・入院診療単価 5万円
- ・外来診療単価 1万円
- ・診療報酬改定に伴う、新たな施設基準・加算の取得
- ・請求漏れ・加算漏れの徹底した検証

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

経営の安定化を図ることにより、地域住民に対し、より安全で安心できる医療を継続して提供することができる。